

土忌

〔晴豐記〕天正十年正月四日、節分方違ニ子ノ方吉方なり、則北ニ井上ト申者あり、あけち者、彼者所
へ余方違也、

〔簾中抄方下〕方違附土忌土をいむこと 我家のかきのうちは、四十五歩をいむ、となりは廿歩五歩を
いむ、八卦御忌方は三百歩をいむ、三百歩は四町あまりなり、たゞしつちを三尺すぎてほるを
いむなり、

〔類聚符宣抄一〕御體御卜

太政官符神祇官外印

應行御卜祟參箇條事○中

一自御在所南西方諸司所犯土祟可鎮謝事

中務 民部 主税 内匠 造酒 内膳 右兵衛 左馬 右馬等省寮司府所犯

右得彼官今月十日解僂依例供奉御體御卜、所祟奏聞既訖、仍錄祟狀申送如件者、官宜承知依件行
之符到奉行、

位左少弁

位左大史

天曆六年十二月十日

〔朝野群載陰陽道〕犯土禁忌

勸申隣里犯土禁忌步數事

陰陽書云、居廓邑内者、土氣去宅卅五步、各爲一區、過之外土氣不害人、掘地起土、深過三尺爲害、不滿
三尺無害、本命法云、禍害絶命鬼吏五墓之郷、去舍三百歩内、雖身不往、害人作病云々、

今案、隣里犯土、大將軍、王相等方忌卅五歩内、御忌方三百歩内、三百歩者四町餘也但自身犯土造作者、不論
遠近、猶可忌之、仍以勸申、